

ちよつといし話

～男と女～

第24号「今を生きる」の如くに問題なく生活出来て、第32号「美の再生」へと進むも、ふと思い廻らす事があります。これから先、人間の成り合いが家族としての形態を崩し、個として生きる形態が増えて来ます。ですから子々孫々に家の栄えを願う事も無くなって来ると思います。男女平等との歌い文句から仕事々で結婚もしない出来ない男女が増え妙な社会に成って来ました。平等とは能力に因る不平等こそが平等なのであります。男にも女にも出来る事では無く、**男にしか出来ない、女にしか出来ない事こそ大切な事だ**と思います。六道輪廻の仏教や日本の神々にはこの祈りがあったと思います。結婚し家族の栄えが日本の栄えになり、子々孫々の繁栄を祈ったのです。今の思想が続けば家族は消えてゆき、やがて日本人も消えてゆく事に成ってしまいます。男女平等を旗印に頑張ってみたところで、目先のみで末は潰れる、今の世相なら潰れた方が良くかも知れない。多くの日本人は借金を背負って歩いている。人口が減るのに新しく家をドンドン作ってどうしましょう。それも、お金も無いのにマンションを買う。借金（ローン）だから一つ問題が起きると色々な処に波及して大変な事になってしまいます。小額の物から高額の物まで現金が無くても購入出来るシステムが良いか悪いかは夫々に意見はあるでしょう。私はお金を苦勞して貯めて一つの物を買うにも辛抱しながら買うから物の大切さが味わえると思います。心のあり方が重要です。しかし、全て自己の責任に於いて処理できれば私は何れでも良いと思います。人間として全ての心的状況に対し、的確に合わせる事が出来る、**敬うやまいの姿、合掌が最高ではないでしょうか？男も女も来年は合掌の姿で和顔愛語を守りましょう。**

善入院油掛地藏尊